

施策番号 5-2-1	施策名 効果的・効率的な行政運営	基本目標	町民が主役となった自治に基づくまちづくり			
		政策名	安定した行財政運営と町民サービスの推進			
	主管課	企画財政課	課長名	佐野寿行	内線	220
	施策関係課	総務課・保健福祉課・建設都市整備課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
総合計画と行政改革大綱の取組を着実に推進し、効果的で効率的な行政運営をすすめます。		第4期総合計画 第9次行政改革大綱実施計画	総合計画：目標と掲げられた指標を実現する 行革大綱：対象実施計画を実現する					無駄を排し身の丈にあった、効果的で効率的な行政運営に結びつける	
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)	
①	第4期総合計画後期実施計画の施策評価(外部)のC以上の評価施策割合	%	84.2	86.1	91.6	100.0	100.0	100.0	
②	行革大綱実施計画の評価(外部)のB以上の取り組み割合	%	27.3	62.5	45.8	50.0	50.0	50.0	
③									
成果指標設定の考え方	①前期実施計画と同様に政策・施策を前進させるのが総合計画であることから100%を目指す。 ②前期実施計画と同様に50%以上を維持する。								

2. 施策の事業費

	26年度決算	27年度決算
施策事業費(千円)	97,889	146,776
人工数(業務量)	5,7717	6,4554

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成27年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	②は目標値を前年比・目標比ともに大きく下回っている。指標のみで見ると成果は低下しているが、まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定や総合計画後期実施計画の見直しを行ったことから、「成果は変わらなかった」と評価した
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	各施策の達成状況の集約結果がこの施策の評価になることから、現状の取り組みの延長において目標達成を見込むことは困難である。毎年度の評価の中で未達成の課題と解決策を検討し目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する平成27年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	行政改革実施計画進行・管理事務	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
	総合計画推進事業		
	行政評価システム推進事業		
③事務事業全体の振り返り(総括)	①まち・ひと・しごと創生法に基づき、芽室町人口ビジョンとまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するとともに、総合計画後期実施計画を総点検し、期間を1年延長し改訂を行った。 ②高度経済成長期に整備された公共施設(建物・インフラ)の現状を把握し、長期的な視点を持った管理計画を策定した。 ③人口減少対策と有効的な土地利用を目指し、緑町公営住宅跡地において民間による宅地開発が行われ、子育て世帯新生活応援奨励制度の利用は18件と大幅に増加した。 ④総合計画の進行管理(評価)を従来通り実施した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》 「芽室町自治基本条例」や「第4期芽室町総合計画」の推進はまちづくりの将来像、基本目標の達成のための町政運営の原則であり、基本方針である。今後も進行管理をしっかり行い、改善を図りながら行政運営を進めていかなければならない。</p> <p>《今後の予測》 芽室町総合計画のPDCA(計画、実行、評価、見直し)サイクルは定着しているが、PDCAそれぞれの作業が次のサイクルに反映させる取り組みを更に強化すべきである。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<p>施策全体が幅広い範囲であるので、施策全体に対しての意見・要望はない。 施策評価の中で外部評価委員を含めた意見をいただこうと考えている。</p>

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

<p>課題① 第4期総合計画の推進 総合計画に総合戦略も含めた計画・予算・評価の連動をさらに進め、計画的・安定的な行政運営を進めていく必要がある。 第5期総合計画の策定準備を進める必要がある。</p> <p>課題② 第9次行政改革の推進 第9次行政改革大綱の5つの基本方針である「職員の能力開発と人事管理」「持続可能で効果的・効率的な行財政システムの構築」「行政の協働経営」「町民視点に立った行政サービスの向上」「情報共有の推進」を着実に実行していく必要がある。</p> <p>課題③ 公共施設総合管理計画の進行管理 公共施設等総合管理計画の目標達成に向けた、ファシリティマネジメント(資産運用)の視点を踏まえた進行管理が必要となる。</p>

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び総合計画後期実施計画の見直しをし、計画行政の推進をしており、前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	第5期総合計画の策定に向け、PDCAサイクルや計画・予算・評価の更なる連動を進めてほしい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	● 庁内評価のとおり、前進していると言える。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	● 担当課としての評価はBなどの高い評価にしてあると、本当にその評価にふさわしいか、という視点で外部評価がしやすいが、担当課の時点でC~Dの評価であると、担当課評価・庁内評価のとおりになり、評価についての審議が活発化しにくい。	<p>A: 実現した</p> <p>B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した</p> <p>C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した</p> <p>D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない</p> <p>E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した</p>					